

学生の能力を引き出す実習指導を考える

診療参加型実習では学生ができることから臨床業務に参加します。つまり臨床教育者は学生の能力を引き出し、伸ばす実習指導が必要となります。そのために、対話(フィードバック)したり、観察したり、中間評価をしたりします。しかしそれは、学生が自身の能力を否定的に捉えすぎたり、対象者に関心が向かないという危険性もはらんでいます。今回は診療参加型実習を実践されている講師をお招きし、学生の能力を引き出すための考え方と具体的な指導方法をテーマとしました。

期日： 令和 2 年 **12 月 13 日** (日)

13 時 30 分～16 時 40 分 (13 時 00 分受付開始)

会場：Zoom によるオンライン研修会

主催：臨床・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会

会費：会員 1000 円 非会員 2000 円

【本会は SIG 認定されている団体ですので、日本作業療法士協会会員は 1 ポイント付与されます】

【内容】

- 講演 1：身体領域の立場から 中澤史江氏 (豊島病院)
- 講演 2：精神領域の立場から 石川英樹氏 (蓮田よつば病院)
- 講演 3：臨床教育者へのアンケート調査から 小林幸治氏 (目白大学)
- ディスカッション, まとめ

お申込み方法 (締め切り 12 月 12 日)

Peatix というイベント管理サイトにてお申し込みを承ります。

下記の URL または QR コードからお申込みください。

<https://ccs-ot-education.peatix.com>



臨床・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会事務局

Mail ccs_ot_education@yahoo.co.jp 担当：野村

HP <https://ccs-ot-education.jimdo.com/>